# upIATEX $2\varepsilon$ テンプレート

## u-sho (上地 将平)

作成:令和2年12月31日 更新:令和7年1月7日

## 目次

第Ⅰ音	<b>服</b> ho		2
1	目的	2	
2	概要	2	
第川	部 he		2
3	鳴き声	2	
3.1	にゃあにゃあ	2	
	3.1.1 <mark>がお</mark> がお	2	
3.2	ぴえん	2	
	3.2.1 ぱおーん	2	
4	結果および考察	3	
4.1	がおがお	3	
4.2	ぱおぱお	3	
	4.2.1 にゅ~ペーじ	4	

## 第Ⅰ部

## ho

1 目的

知らんが

2 概要

参考文献 [1]

### 第川部

he

- 3 鳴き声
- 3.1 にゃあにゃあ

なんか

3.1.1 がおがお

すると

- 3.2 ぴえん
- 3.2.1 ぱおーん

ぱおーん 定理 1 や表 1, 図 1, 式 (1) を \prettyref コマンドで引いてみた

### 4 結果および考察

#### 4.1 がおがお

しらんけど  $6 \times 10^2$  回サイコロふった.初期位相  $-66^{\circ}5'4''$  だったとかなんとか

割合 n/N出た目 回数 n(n/N - 1/6)1 0.147-2.0+-1 e-2 88 2 0.1703 + -0.1e - 3102 3 84 -2.7 e-20.1404 114 0.1902.3 e-2109 0.1821.5 e-25 6 5e-3 103 0.172

表 1 サイコロを振った結果 (N=600)

#### 4.2 ぱおぱお

これはなんのず? pyo  $1, 2, \ldots, 10$  番目のわちゃわちゃ

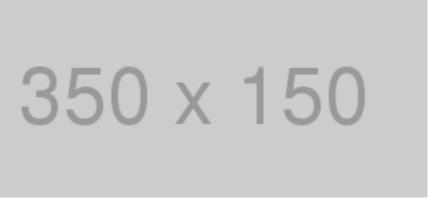


図1 ろんりかいろ

 $1,\,2,\,\ldots,\,10$  あるいは  $1,\,2,\,\ldots,\,10.$   $Y_1,\,Y_2,\,\ldots,\,Y_m$  は  $X_1,\,X_2,\,\ldots,\,X_n$ 

### 4.2.1 にゅ~ペーじ

ひるべるとくうかん  $\big(\mathcal{H},\mathcal{L}(\mathcal{H})\big)\Big\{x,y\Big\}$ :

$$\left[\frac{3}{100}\right] \times \mathcal{X}\left\langle \frac{100}{3}, 3+i\right\rangle \exists \rho, \forall \rho, \forall \rho, \forall \gamma \in \mathbb{Z}$$

$$\tag{1}$$

あるいは

**定理 1** (中間値の定理). 閉区間  $[a,b] \subset \mathbb{R}$  について連続な関数  $f: \mathbb{R} \to \mathbb{R}$  を考える.  $f(a) \leq f(b)$  であるとき,(f(a),f(b)) 上の任意の  $k \in \mathbb{R}$  に対して,f(c) = k なる  $c \in (a,b)$  が存在し,f(a) > f(b) であるとき,(f(b),f(a)) 上の任意の  $k \in \mathbb{R}$  に対して,f(c) = k なる  $c \in (b,a)$  が存在する.

証明. 明らか. ■

## 参考文献

[1] 参考文献の名前・著者 1 available at https://github.com/u-sho/upLaTeX-template